



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年5月11日

上場会社名 株式会社日本創発グループ
 コード番号 7814 URL <http://www.jcpjg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 藤田 一郎
 (氏名) 菊地 克二
 配当支払開始予定日 平成29年5月26日
 TEL 03-3807-8411

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	8,832	1.1	690	65.0	749	72.3	543	72.7
28年12月期第1四半期	8,932	6.7	418	124.9	435	135.1	314	249.9

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 542百万円 (75.4%) 28年12月期第1四半期 309百万円 (206.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	49.60	
28年12月期第1四半期	26.81	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年12月期第1四半期	31,866	9,593	29.8	863.83
28年12月期	28,978	9,090	31.0	821.24

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 9,481百万円 28年12月期 8,982百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	6.00	6.00	6.00	6.00	24.00
29年12月期	6.00				
29年12月期(予想)		6.00	6.00	6.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,000	5.1	1,300	49.3	1,300	26.9	800	51.2	73.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) ダンサイエンス株式会社、除外 1 社 (社名) 株式会社キョーコロ
詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	12,187,280 株	28年12月期	12,187,280 株
期末自己株式数	29年12月期1Q	1,211,464 株	28年12月期	1,249,212 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	10,960,971 株	28年12月期1Q	11,741,533 株

野村信託銀行株式会社(従業員持株会専用信託口)が所有する当社株式(29年12月期1Q234,800株、28年12月期272,700株)を期末自己株式数に含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や賃金の伸び悩みが続く中、日銀の金融緩和政策の現状維持もあって、輸出及び生産が持ち直し緩やかなペースでの成長が続いております。一方、米国新政権の保護主義的な政策の行方、朝鮮半島等の地政学リスクや欧州の政治イベントが続き為替の円高警戒感の強まり等、先行きは不透明な状況であります。

当社企業グループは、クリエイティブサービスを事業とし、お客様が創造性(クリエイティブ)を表現するために必要である多様なソリューションを提供するため、「クリエイティブをサポートする企業集団」として、幅広いビジネスを積極的に展開、推進しております。

グループ各社が専門とする技術及びノウハウと、最新設備を備えたグループインフラを活用し、様々なクリエイティブニーズを確かなカタチとしてご提供しております。また、ワンストップで様々なプロフェッショナルサービスを提供できるようグループ間の支援体制を整え、ソリューション営業を行っております。

当第1四半期連結会計期間において、ソリューション営業の強化を図るため、ダンサイエンス株式会社、株式会社ジー・ワン、キッズプランニング株式会社、インターフェイスマーケティング株式会社、株式会社マーケティングディレクションズ、明和物産株式会社をグループ化いたしました。また、デジタルコンテンツ制作の強化を図るため、株式会社FIVESTARinteractive、株式会社エグゼクションをグループ化いたしました。加えて、生産効率の向上及び付加価値商材の開発及び拡販等を図るべく、株式会社ウイルコホールディングスと包括的業務提携契約を行っております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高88億32百万円(前年同期比△1.1%減)、営業利益6億90百万円(前年同期比65.0%増)、経常利益7億49百万円(前年同期比72.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益5億43百万円(前年同期比72.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、主に、現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、投資有価証券の増加により、前連結会計年度末に比べて28億88百万円増加し318億66百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、主に、短期借入金金の増加により、前連結会計年度末に比べて23億85百万円増加し、222億72百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に、支払配当金等による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べて5億3百万円増加し、95億93百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年12月期通期の連結業績予想につきましては、平成29年2月10日付け「平成28年12月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」で公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,601	3,639
受取手形及び売掛金	6,396	6,929
電子記録債権	754	789
商品及び製品	446	375
仕掛品	507	592
原材料及び貯蔵品	243	241
繰延税金資産	102	186
その他	1,014	815
貸倒引当金	△117	△111
流動資産合計	11,951	13,459
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,430	3,433
機械装置及び運搬具(純額)	2,489	2,373
土地	6,502	6,439
その他(純額)	204	225
有形固定資産合計	12,625	12,472
無形固定資産		
のれん	1,774	2,007
その他	265	254
無形固定資産合計	2,040	2,262
投資その他の資産		
投資有価証券	1,375	2,655
繰延税金資産	131	67
その他	949	1,045
貸倒引当金	△95	△96
投資その他の資産合計	2,360	3,672
固定資産合計	17,026	18,407
資産合計	28,978	31,866

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,523	2,898
短期借入金	8,890	11,110
1年内返済予定の長期借入金	491	463
未払法人税等	103	246
その他	2,395	2,197
流動負債合計	14,403	16,915
固定負債		
長期借入金	2,724	2,628
繰延税金負債	482	475
退職給付に係る負債	979	1,016
資産除去債務	29	29
その他	1,266	1,205
固定負債合計	5,483	5,356
負債合計	19,887	22,272
純資産の部		
株主資本		
資本金	400	400
資本剰余金	3,101	3,111
利益剰余金	6,091	6,569
自己株式	△702	△687
株主資本合計	8,890	9,393
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	91	91
繰延ヘッジ損益	0	△4
退職給付に係る調整累計額	1	0
その他の包括利益累計額合計	92	87
非支配株主持分	108	112
純資産合計	9,090	9,593
負債純資産合計	28,978	31,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	8,932	8,832
売上原価	6,454	6,140
売上総利益	2,477	2,692
販売費及び一般管理費	2,058	2,002
営業利益	418	690
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	—	0
持分法による投資利益	33	34
その他	24	53
営業外収益合計	57	89
営業外費用		
支払利息	38	21
その他	2	8
営業外費用合計	41	30
経常利益	435	749
特別利益		
固定資産売却益	8	13
保険解約返戻金	8	0
その他	0	—
特別利益合計	17	13
特別損失		
固定資産売却損	5	3
固定資産除却損	1	2
その他	0	0
特別損失合計	6	6
税金等調整前四半期純利益	446	756
法人税、住民税及び事業税	33	247
法人税等調整額	94	△38
法人税等合計	127	209
四半期純利益	318	547
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	314	543

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年1月1日 至 平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年1月1日 至 平成29年3月31日)
四半期純利益	318	547
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	△0
繰延ヘッジ損益	—	△4
退職給付に係る調整額	△0	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	—
その他の包括利益合計	△9	△5
四半期包括利益	309	542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305	538
非支配株主に係る四半期包括利益	3	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第1四半期連結会計期間において、株式取得により子会社となった株式会社ダンホールディングス（みなし取得日：平成29年3月31日）を平成29年3月31日付にて吸収合併（存続会社：当社、消滅会社：株式会社ダンホールディングス）し、株式会社ダンホールディングスの子会社であったダンサイエンス株式会社を新たに連結子会社といたしました。また、株式会社キョーコロにつきましては、重要性が低下したため、当第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外し、持分法適用会社といたしました。

なお、ダンサイエンス株式会社以外の株式会社ダンホールディングスの子会社であった株式会社ジー・ワン、キッズブランニング株式会社、インターフェイスマーケティング株式会社、株式会社マーケティングディレクションズ、株式会社エグゼクション、明和物産株式会社の6社及び、株式取得により子会社となった株式会社FIVESTAR interactive（みなし取得日：平成29年3月31日）は重要性の観点から非連結子会社とし、当第1四半期連結会計期間より持分法適用の範囲に含めております。

また、持分法適用の関連会社として、当第1四半期連結会計期間より新たに株式会社アルファコードを持分法適用の範囲に含めております。

(追加情報)

1. 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期会計期間から適用しております。

2. 従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引

当社は、グループの従業員に対して中長期的な企業価値向上のインセンティブを付与すると同時に、福利厚生を増進策として、持株会の拡充を通じて従業員の株式取得及び保有を促進することにより従業員の財産形成を支援することを目的として、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン」（以下「本プラン」といいます。）を導入しております。

①取引の概要

本プランは、当社が信託銀行に従業員持株会専用信託（以下「従持信託」といいます。）を設定し、従持信託は信託期間内で当社持株会が取得すると見込まれる数の当社株式を一括取得し、その後は、従持信託から当社持株会に当社株式の売却を継続的に行います。

当社株式の取得及び処分については、当社が従持信託の債務を保証しているため、経済的実態を重視し、当社と従持信託は一体であるとする会計処理をしております。

従いまして、従持信託が所有する当社株式や従持信託の資産及び負債並びに費用及び収益については、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書に含めて計上しております。

②信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する会計処理

「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号 平成27年3月26日）第20項を適用し、従来採用していた方法を継続しております。

③信託が保有する自社の株式に関する事項

従持信託が保有する当社株式の従持信託における帳簿価額は当第1四半期連結会計期間末93百万円で、株主資本において自己株式として計上しております。

また、当該株式の期末株式数は当第1四半期連結会計期間234千株、期中平均株式数は当第1四半期連結累計期間249千株であり、1株当たり情報の算出上、控除する自己株式に含めております。